

# 鶏卵業界の工務部門として世界へ

## (株式会社 ナベル)

### 会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地: 京都府京都市南区西九条森本町  
86番地
- 代表者: 南部 邦男
- 資本金: 8,200万円
- 売上高: 38億500万円
- 従業員数: 123名
- URL: <http://www.nabel.co.jp>

### ①事業概要

#### <鶏卵選別包装システム等製造・販売>

株式会社ナベルは、昭和54年に日本で初めて全自動鶏卵選別包装システムの開発に成功。同システムで国内シェアの約70%、世界2位を誇るニッチトップメーカーである。最近では、養鶏農家の大規模化により、1時間あたり12万個の卵を選別包装できる全自動鶏卵選別包装システムの開発に成功。養鶏農家の生産性の向上に大きく貢献している。その他、卵表面を軽く叩くことで発生する周波数を解析し、ひびの入った卵を95%という高い確率で検出する「ひび卵検出装置」や、分光分析技術の採用により、血玉の検出だけでなく、異常卵も検出する装置を開発。卵に特化した「日本の鶏卵業界」の工務部門であることを使命としている。

### ②海外展開概要

#### <東南アジア等への現地法人設立>

平成4年に初めてマレーシアへ輸出を行う。それから10年が経過した平成14年に、マレーシアにナベルアジアを設立し、アジアを中心としたより積極的な海外営業活動を開始し、さらに平成20年にはブラジルに現地法人を設立している。

現在、ナベルの機械を納品している国は、アジア、中南米、北米、欧州、大洋州、中東、アフリカの世界45カ国にのぼるが、メンテナンスに対応できない国への納入はしないことをポリシーとしている。

また、特許侵害で訴えられた経験から、知的財産に着目し、多くの国際特許を取得している。

### ③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社は、南部電機製作所として昭和39年に創業し、大手企業の下請けを行っていたが、もっと良いビジネスチャンスはないかと考えていたところ、外国製のみで高価格であったため日本製を要望する声のあった卵の選別機械に目をつけた。昭和54年には、国内で初めて全自動の鶏卵選別包装システムの開発に成功。卵は、国や宗教にとらわれず、手軽に動物性タンパクを摂取できるため、世界各国で重宝されているので、各国に養鶏場があり、全自動鶏卵選別包装システムのニーズがあった。競合相手であった海外メーカーと比較し技術的に優位で、日本製品に対する絶対的信頼性もあることから、世界各国からも多くの引き合いがあった。

### ④今後の事業展開について

国内市場は飽和状態にあるものの、アジアをはじめとする新興国では卵の消費量が増えており、大きなビジネスチャンスがある。現在、同社の全売上高に占める海外売上上の割合は10%弱だが、今後国際見本市への出展等により、積極的に海外市場を開拓し、3年以内には50%にするのが目標である。

海外戦略の要は、新規国の開拓と既存国のシェアアップ。この両方をかなえる手段として、アジア諸国の展示会へ出展し、目の前で機械を稼働させることにより、言葉の違いを乗り越えた営業活動を行い、市場拡大を狙う。



▲全自動鶏卵選別包装システム



▲ひび卵検査装置

(平成24年10月現在)

データ出所: 近畿経済産業局